



新社屋（2026年秋竣工予定）

- 本社所在地：沖縄県宜野湾市
- 事業概要：IT関連の総合コンサルティング
- 常時使用する従業員：108名
(2025年11月時点)
- 現在の売上高：16億円
(2025年3月期)
- 法人番号：6360001008604
- Web：<https://okicom.co.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
小渡 玠

ITの力でお客様と共に楽しい未来をつくりこむ

私たちokicomは、売上100億円企業への成長を通じて、地域経済の発展と持続可能な社会の実現に努めます。人口減少や気候変動、AIの普及など変化の時代において、社は「面白いことへのチャレンジ」を基盤に挑戦と共創を重ね、万国津梁の精神で沖縄から世界へ価値をつなぎます。社員や家族、地域社会のウェルビーイングを尊重し、人的資本・社会資本・技術力を磨き、必要とされる社会的インパクトを積み重ねていきます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2036年の売上達成に向けて、自社商品の開発及びM&A、海外展開を進め、事業ドメインの整理・拡大で年率20%程度の成長を目指す。
(売上高推移チャートは別紙記載)

課題

- ・ 商材不足により収益性が低下しており、粗利率・ストック率向上に向けたビジネスモデルの変革が必要。
- ・ 第2創業期に向け、人事戦略のブラッシュアップとして、企業文化のアップデートが必要。
- ・ 創業45年で事業が戦略性なく拡大し、経営資源が分散しているため、「やらないこと」を明確にした選択と集中が必要。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

okicomは企業ブランドを強化し、okicorn project(オキコーンプロジェクト)で短期成長を図る。沖縄を未来型ブルーエコノミー拠点と捉え、GXや循環型モデル、モビリティ等を重点領域とし中長期戦略を展開。社会問題となっている後継者不足の局面を捉えM&Aを活用し、IT・電気事業者との連携を深める。オープンイノベーションの実践や海外展開を進め、売上拡大を企図。また、沖縄の地域課題である教育格差の是正に取り組む他、2026年竣工の新社屋を活用し地域コミュニティの再接続にも取り組む。
(さらに詳細を別紙記載)

実施体制

経営企画室を中心に事業・人事戦略を進め、新しい地域中堅企業モデルを模索。人生100年時代を踏まえ、社会的発明となるような“永年雇用モデル”の実践を視野に入れる。当社の株式承継時にホールディングス化を企図。企業グループ群を形成可能とすることで、事業展開上の柔軟性、効率的なマネージメントの確立、採用力と成長力の担保を行いたい。
(さらに詳細を別紙記載)

売上高100億円実現に向けた具体的な措置

目指す成長手段

1. 企業ブランドの継続的な向上を図る。
2. 「okicom - unicorn→okicorn project」を推進し、短期的な成長エンジンを構築する。
3. 沖縄を未来型ブルーエコノミー拠点と捉え、GX・循環型モデルを意識した事業を展開する。また、長期ビジョンを継続的に更新し、地域および世界をリードする事業開発に取り組む（リモートセンシング、モビリティを重点領域とする）。
4. 後継者不足という社会課題に向き合い、事業シナジーを慎重に見極めながら、M&Aを活用した事業拡大を図る。まずは同業のIT事業者・電気事業者との連携を優先的に検討する。
5. オープンイノベーションに積極的に取り組み、県内のエコシステムに貢献しつつ、自社の成長力につなげる。
6. 外国籍社員の登用など、DEIを高いレベルで実践し、その関係性を梃とした海外展開の仕組みを構築する。
7. 分断が進む社会において、つながりやコミュニティの価値を再評価し、宜野湾の本社社屋を活用した事業を実施する。とくに教育格差・リテラシー格差の是正に取り組む。
8. 地域の再接続を重視し、県・経済界として推進するGW2050との連携を図り、グローバルな視座で事業を推進する。

実施体制

- ・ 短期的には、経営企画室を中心に事業戦略および人事戦略を策定・推進する。
- ・ 新たな地域中堅企業のモデルを探索し、健康長寿を基盤とした永年雇用（80歳以降も働ける環境整備等）を視野に入れた体制を検討する。
- ・ 株式承継の時期に合わせてホールディングス体制へ移行し、事業ドメインごとの分社化によって経営人材を育成する。併せて、地域への貢献度を高めるとともに、社員のビジョンに寄り添う組織体制を構築する。

売上高

